

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月13日

上場会社名 株式会社ウチヤマホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 6059 URL http://www.uchiyama-gr.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内山文治
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役経営企画室長(氏名) 山本武博 (TEL) 093-551-0002
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	13,100	7.9	576	166.8	669	91.3	442	111.4
29年3月期第2四半期	12,135	3.5	216	182.1	350	118.3	209	△53.0

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 448百万円(120.8%) 29年3月期第2四半期 203百万円(△47.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	22.91	—
29年3月期第2四半期	10.79	10.77

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	31,486	15,147	48.1
29年3月期	30,355	14,794	48.7

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 15,147百万円 29年3月期 14,794百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
30年3月期	—	5.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	26,810	5.9	1,120	44.2	1,081	7.2	702	—

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2 平成30年3月期の通期の親会社株主に帰属する当期純利益の対前期増減率は100%を超えるため「—」と記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	21,618,800株	29年3月期	21,618,800株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	2,287,776株	29年3月期	2,287,776株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	19,331,024株	29年3月期2Q	19,408,894株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成29年11月22日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境などの改善により好循環が広がりつつあります。また、世界景気においても好調なアメリカ経済が牽引し緩やかな回復傾向にあります。一方、欧米の政策の動向や北朝鮮をめぐる軍事衝突のリスクなど不確定な要素も多くあり、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境下におきまして、当社グループでは、各セグメントで事業戦略に基づく営業活動等を積極的に推し進めてまいりました。また、介護事業、カラオケ事業、飲食事業間において、相互のシナジー効果を向上させるような取り組みを企画し実践するなどして、積極的にサービスの付加価値向上に努めました。

経費面におきましても、コスト削減を進めることで経営の効率化を行い業績の安定化を図りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は13,100,349千円（前年同期比7.9%増）、営業利益は576,755千円（同166.8%増）、経常利益は669,821千円（同91.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は442,858千円（同111.4%増）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

① 介護事業

介護事業におきましては、6月に介護付有料老人ホーム「さわやかシーサイドくきのうみ」を開設したほか、障がい児通所支援事業放課後等デイサービス「さわやか愛の家」を3カ所新規開設いたしました。これにより、当第2四半期末時点での営業拠点は84ヶ所156事業所となりました。既存施設におきましては、空室を減らすために、近隣の病院や居宅介護支援事業所への訪問による連携の強化を推進することで入居率の安定化を目指した結果、当第2四半期連結累計期間での既存施設の平均入居率は93.4%（前年同期既存平均入居率91.8%）となりました。これらの結果、売上高は7,879,466千円（前年同期比11.9%増）、セグメント利益は664,093千円（同30.3%増）となりました。

② カラオケ事業

カラオケ事業におきましては、Web上のポータルサイトを積極活用し集客向上を図ったほか、スマートフォン向けのモバイル会員の勧誘を行うなどしてリピート客の増加に努めました。また、適正な人員の配置や業務オペレーションの効率化を推し進めコストの削減に努めました。この結果、売上高は3,776,694千円（前年同期比5.6%減）、セグメント利益は365,711千円（同46.4%増）となりました。なお、当第2四半期連結累計期間において新規の開店は行っておりませんが退店を2店舗行ったことから、当第2四半期末時点での店舗数は94店舗となりました。

③ 飲食事業

飲食事業におきましては、既存店の業態変更を1店舗、カラオケ店舗からの業態変更を1店舗行った一方で退店を3店舗行ったことにより、当第2四半期末時点での店舗数は国内21店舗、海外3店舗となりました。既存店舗におきましては、集客が安定的に推移しました。また、新業態としてハイボール専門店「ハイボールバー銀天街1923」を北九州市小倉北区にオープンさせ、新たな需要の創出に努めました。この結果、売上高は870,005千円（前年同期比1.4%減）、セグメント損失は8,767千円（前年同期はセグメント損失33,369千円）となりました。

④ 不動産事業

不動産事業におきましては、販売用不動産の売買及び賃貸不動産の仲介業務等を中心に行っておりますが、主に販売用不動産の売却が進んだことから、売上高は447,987千円（前年同期比347.4%増）、セグメント利益は93,376千円（同247.7%増）となりました。

⑤ その他

その他におきましては、ホテル事業において、円安の影響による国内旅行の活性化に伴う需要の獲得を目指し、広告媒体を活用し宿泊客の増加に努めました。この結果、売上高は126,194千円（前年同期比13.4%増）、セグメント損失は18,372千円（前年同期はセグメント損失14,381千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ1,130,863千円増加し、31,486,739千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末より579,345千円増加し、13,751,195千円となりました。主な要因は、売掛金、流動資産(その他)が増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末より551,517千円増加し、17,735,543千円となりました。主な要因は、建物及び構築物、土地、有形固定資産(その他)が増加したこと及び投資その他の資産(その他)が減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ778,738千円増加し、16,339,716千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末より768,392千円増加し、7,025,050千円となりました。主な要因は、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金が増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末より10,345千円増加し、9,314,666千円となりました。主な要因は、長期借入金、資産除去債務が増加したこと及び固定負債(その他)が減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より352,124千円増加し、15,147,022千円となりました。主な要因は、利益剰余金の親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加と配当金の支払による減少によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて519,641千円増加し、9,489,371千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況については下記のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,001,417千円(前年同期は575,696千円の収入)となりました。収入の主な内訳は税金等調整前四半期純利益が687,241千円、減価償却費の計上が488,212千円であり、支出の主な内訳は売上債権の増加額が123,069千円、法人税等の支払額が128,591千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1,008,796千円(前年同期は1,267,848千円の支出)となりました。支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出が1,433,115千円、定期預金の預入による支出が130,204千円であり、収入の主な内訳は投資有価証券の売却による収入が509,739千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、526,540千円(前年同期は61,021千円の支出)となりました。収入の主な内訳は短期借入金の増加額が430,842千円、長期借入れによる収入が1,600,000千円であり、支出の主な内訳は長期借入金の返済による支出が1,128,299千円、割賦債務の返済による支出が278,668千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,249,929	9,259,836
売掛金	1,731,381	1,854,450
有価証券	5,003	-
商品	68,073	70,137
販売用不動産	1,049,738	1,042,689
貯蔵品	174	304
その他	1,080,688	1,536,985
貸倒引当金	△13,138	△13,208
流動資産合計	13,171,850	13,751,195
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,721,059	8,282,421
土地	3,629,089	3,760,181
その他(純額)	1,011,502	1,217,066
有形固定資産合計	12,361,651	13,259,668
無形固定資産	45,800	50,959
投資その他の資産		
その他	4,849,802	4,495,657
貸倒引当金	△73,229	△70,742
投資その他の資産合計	4,776,572	4,424,914
固定資産合計	17,184,025	17,735,543
資産合計	30,355,875	31,486,739
負債の部		
流動負債		
買掛金	347,593	279,181
短期借入金	844,600	1,275,442
1年内返済予定の長期借入金	2,225,201	2,429,601
未払法人税等	162,427	238,184
賞与引当金	235,260	254,609
ポイント引当金	229,762	180,133
株主優待引当金	11,815	-
資産除去債務	6,833	-
その他	2,193,162	2,367,898
流動負債合計	6,256,657	7,025,050
固定負債		
長期借入金	7,516,797	7,784,099
資産除去債務	214,653	224,835
その他	1,572,869	1,305,731
固定負債合計	9,304,320	9,314,666
負債合計	15,560,977	16,339,716

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,222,935	2,222,935
資本剰余金	2,666,282	2,666,282
利益剰余金	11,076,529	11,422,733
自己株式	△1,166,007	△1,166,007
株主資本合計	14,799,740	15,145,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,814	350
為替換算調整勘定	972	727
その他の包括利益累計額合計	△4,842	1,078
純資産合計	14,794,897	15,147,022
負債純資産合計	30,355,875	31,486,739

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	12,135,802	13,100,349
売上原価	11,067,197	11,670,463
売上総利益	1,068,605	1,429,885
販売費及び一般管理費		
賞与引当金繰入額	6,731	7,814
租税公課	250,998	273,054
貸倒引当金繰入額	115	439
その他	594,565	571,822
販売費及び一般管理費合計	852,410	853,130
営業利益	216,194	576,755
営業外収益		
受取利息	3,354	2,898
受取配当金	28	24
受取手数料	40,404	64,564
その他	159,711	64,404
営業外収益合計	203,499	131,892
営業外費用		
支払利息	45,815	36,301
為替差損	15,357	-
その他	8,436	2,524
営業外費用合計	69,608	38,825
経常利益	350,085	669,821
特別利益		
固定資産売却益	-	12,240
投資有価証券売却益	-	9,739
特別利益合計	-	21,980
特別損失		
固定資産除却損	-	759
減損損失	12,639	3,800
特別損失合計	12,639	4,560
税金等調整前四半期純利益	337,445	687,241
法人税、住民税及び事業税	117,903	194,073
法人税等調整額	11,952	50,309
法人税等合計	129,855	244,382
四半期純利益	207,590	442,858
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,858	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	209,449	442,858

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	207,590	442,858
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,102	6,165
為替換算調整勘定	1,788	△244
その他の包括利益合計	△4,313	5,921
四半期包括利益	203,277	448,780
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	204,223	448,780
非支配株主に係る四半期包括利益	△946	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	337,445	687,241
減価償却費	575,071	488,212
減損損失	12,639	3,800
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11,467	△2,416
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,719	19,348
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△39,569	△49,629
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△10,175	△11,815
固定資産売却損益(△は益)	-	△12,240
固定資産除却損	-	759
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△9,739
受取利息及び受取配当金	△3,382	△2,922
支払利息	45,815	36,301
売上債権の増減額(△は増加)	△108,231	△123,069
たな卸資産の増減額(△は増加)	△271,461	4,916
未払消費税等の増減額(△は減少)	67,772	△15,008
仕入債務の増減額(△は減少)	△51,534	△65,139
その他	36,555	161,068
小計	592,198	1,109,667
利息及び配当金の受取額	1,128	863
利息の支払額	△45,898	△34,066
法人税等の支払額	△88,079	△128,591
法人税等の還付額	116,347	53,544
営業活動によるキャッシュ・フロー	575,696	1,001,417
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,018,019	△1,433,115
有形固定資産の除却による支出	-	△759
有形固定資産の売却による収入	-	100,000
無形固定資産の取得による支出	△848	△10,000
投資有価証券の取得による支出	-	△95,184
投資有価証券の売却による収入	-	509,739
投資有価証券の償還による収入	2,890	5,000
定期預金の預入による支出	△42	△130,204
定期預金の払戻による収入	-	130,199
敷金及び保証金の差入による支出	△26,563	△42,748
敷金及び保証金の回収による収入	26,773	27,451
貸付けによる支出	△172,662	△5,999
貸付金の回収による収入	19,142	20,033
保険積立金の積立による支出	△74,745	△81,157
その他	△23,771	△2,050
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,267,848	△1,008,796

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△194,400	430,842
長期借入れによる収入	1,620,000	1,600,000
長期借入金の返済による支出	△1,293,447	△1,128,299
社債の償還による支出	△17,500	-
リース債務の返済による支出	△433	△433
割賦債務の返済による支出	△304,727	△278,668
自己株式取得目的の金銭の信託の払戻による収入	229,251	-
配当金の支払額	△99,764	△96,845
その他	-	△55
財務活動によるキャッシュ・フロー	△61,021	526,540
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,608	479
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△758,782	519,641
現金及び現金同等物の期首残高	9,301,340	8,969,729
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,542,558	9,489,371

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書 計上額 (注)3
	介護事業	カラオケ 事業	飲食事業	不動産事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	7,039,309	4,002,710	882,344	100,138	12,024,503	111,299	12,135,802	—	12,135,802
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	196	21,156	100	21,452	—	21,452	△21,452	—
計	7,039,309	4,002,906	903,501	100,238	12,045,955	111,299	12,157,255	△21,452	12,135,802
セグメント利益 又は損失(△)	509,545	249,870	△33,369	26,857	752,903	△14,381	738,522	△522,327	216,194

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△522,327千円の内容は、セグメント間取引消去236,232千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△758,560千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において、移転・退店が予定されている店舗について、「カラオケ事業」セグメントでは268千円、「飲食事業」セグメントでは12,371千円の減損損失を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書 計上額 (注)3
	介護事業	カラオケ 事業	飲食事業	不動産事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	7,879,466	3,776,694	870,005	447,987	12,974,155	126,194	13,100,349	—	13,100,349
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	5,606	24,208	1,724	31,539	—	31,539	△31,539	—
計	7,879,466	3,782,300	894,214	449,712	13,005,694	126,194	13,131,888	△31,539	13,100,349
セグメント利益 又は損失(△)	664,093	365,711	△8,767	93,376	1,114,414	△18,372	1,096,042	△519,287	576,755

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△519,287千円の内容は、セグメント間取引消去241,572千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△760,860千円であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

当社の連結子会社である株式会社さわやか倶楽部は、平成29年8月21日に開催の取締役会決議に基づき、平成29年8月24日に有限会社暮らしの里のグループホーム事業譲受に関する契約を締結し、平成29年10月1日付で事業の一部を譲り受けました。

1. 企業結合の概要

(1) 相手企業の名称及び事業の内容

相手企業の名称 有限会社暮らしの里

事業の内容 グループホームの運営に関する事業

(2) 企業結合を行った主な理由

当社の連結子会社である株式会社さわやか倶楽部は、介護施設の開設数の増加が成長戦略上重要であると考えており、施設数の拡大及び関東（千葉県）における業容の拡大が期待できるため。

(3) 企業結合日

平成29年10月1日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする事業譲受

(5) 事業取得企業の名称

当社100%出資の連結子会社 株式会社さわやか倶楽部

2. 取得した事業の取得原価

譲受価額 20,000千円（現金）

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 3,000千円

4. 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。